

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		熊本市こども総合療育センター				公表日	令和8年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15		・面積等の設置基準は十分満たしております。	・自閉症の教室は自閉症の特異性に考慮して仕切っており、障がいの特性を考慮した造りとなっています。保護者様にさらにご理解いただくよう説明して参ります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	2	・指定基準以上の人数の職員（保育士・児童指導員・看護師等）を配置しております。	・個別対応などで手厚い支援を行っておりますのでお子様がより安全安心に療育を受けることができるように職員配置に配慮して参ります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	1	・自閉症クラスは感覚過敏などお子様の特性に配慮し、間接照明やエリアを仕切るなど分かりやすい環境を設定しております。 ・角や壁にはクッション材を設置しリスクに配慮しております。 ・肢体不自由クラスは寝返りやハイハイで自由に動けるよう段差をなくし広々とした空間に整えております。 ・使用後の玩具は次亜塩素酸ナトリウムでの拭き上げ消毒を行っております。	・お子様たちが危険なく快適に過ごすことができるように日々の点検を続けて、不都合箇所が見つかりましたら迅速に改善して参ります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15		・毎日療育終了後に専門業者による清掃を行っております。 ・サーキットやソフトルームなどたくさん体を動かせるエリアを活用しております。	・清掃時の取り組み状況、施設の環境について、保護者様には入園時に説明をさせていただいております。今後も丁寧な説明を行って参ります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15		・必要に応じて休憩できる空間を設置したり個別指導室でグループ活動を行ったりしております。	・これからもお子様の個々の状態に応じて個別の空間を設置するなど配慮して参ります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15		・職員ミーティングを毎月行っており、それを業務改善に繋げております。	・職員にPDCAサイクルの周知徹底を行って参ります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	1	・例年保護者様から評価をいただき、職員全員で共有しております。 ・保護者様と連絡を密に行いご意向を伺っております。	・保護者様からいただいたご意見に対して全職員に周知し業務改善に努めます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	2	・毎月職員ミーティングを行って課題を検討したり解決に繋げたりしております。	・これからも定期的な職員ミーティングを行い業務改善に繋げて参ります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	3	福祉サービス第三者評価は受けておりませんが、毎年外部の専門家によるコンサルテーションにて評価をいただき助言を活かしております。	・コンサルテーションは職員のスキルアップにつながるよう専門性の高い講師を招聘しております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	1	・定期的に職員研修を行いスキル向上を図っております。 ・経験年数や業務内容に応じて外部研修を受けております。	・職員が研修会や視察で学んだ内容を復命して他職員に還元しております。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15		・センターの方針に合わせて作成しておりホームページにて公表しております。	・必要時に見直し改善して参ります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15		・保護者様から聞き取りや日本版PEP-R/自閉症・発達障害児教育診断検査などの発達検査でアセスメントを行っております。 ・児童発達支援計画は、保護者様と必要に応じて関係機関からも出席いただいで会議を開催し話し合ったうえで作成しております。	・保護者様から課題やご要望をしっかりと聞き取りお答えするようにしております。 ・支援計画書はご要望に応じ並行通園先や相談支援事業所へ資料提供を行っております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15		・児童発達管理責任者と担当職員が行っており、関係する他職員の意見も取り入れております。	・今後も関係する職員が参画して作成するようして参ります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15		・いつでも確認できるように教室にも保管しております。 ・お子様の日々の療育は児童発達支援計画に基づいて行っております。	・これからも共通理解のもと療育を行って参ります。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	1	・日本版PEP-R/自閉症・発達障害児教育診断検査を使用しております。その他の検査結果についてもアセスメントに活用させていただいております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15		・お子様の発達については、児童発達支援ガイドラインに沿って児童発達支援計画を作成しております。 ・並行通園先の園や就学先の学校と積極的に情報を共有しスムーズな移行支援ができるようにしております。	・今後も家族支援と地域支援に努めて参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	2	・日々の活動プログラムは療育に関わる職員が参加して打ち合わせを行っております。 ・行事等の立案は主査職員が他職員の意見を聞きながら作成しておりますが、実施の際には各クラスの職員で話し合っておりしております。	・主査職員は計画を作成する段階でも他職員の意見も取り入れるようにして参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15		・活動は固定せずにお子様の状態を把握しながらその時に合った療育を提供するようにしております。	・お子様が日々のプログラムを楽しめるように更に工夫して参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15		・お子様の特性を考慮し、個別支援を主としておりますが、お子様の状態を適切に判断しグループ活動を取り入れております。	・お子様によっては集団参加する前段階の支援が必要な方も多くおられ、将来集団活動ができるための大切な支援であることを保護者様にもご説明して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	4	・各クラスのチームワークが重要と考えており当日の担当、役割を打ち合わせをして、確認しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15		・支援終了後に各クラス毎のお子様の共通理解を図るために全職員参加で丁寧な振り返り、意見交換を行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15		・各クラスの支援日誌の他に保護者様とのやり取りをする連絡帳や個人のアセスメント表を作成し支援の改善や目標を進捗状況を確認しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	1	・年に2回児童発達支援会議を開催し児童発達支援計画の評価及び見直し、新たな課題を整理しモニタリングも兼ねております。 ・保護者様とは密に連絡を取り合い、必要であればその都度見直しを行い臨機応変に対応を行っております。 ・相談支援事業所主催のモニタリング会議には児童の担当職員と児童発達支援管理責任者が参加しております。	・お子様の様子をアセスメントして保護者様の意見を聞き、より充実した支援となるよう努めて参ります。
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15		・障がい児相談支援事業所の依頼に可能な限り対応し参加しております。その際はお子様のことを熟知している担当職員と児童発達支援管理責任者が参加しております。
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15		・当センター内の主治医と密に連携しております。 ・保護者様を通じて情報をいただくとともに必要に応じて関係機関と連携を取っております。 ・関係機関等の見学を積極的に受け入れており連携に努めております。	・今後も保護者様のご理解のもと、積極的に連携した支援を行って参ります。
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15		・ご要望があれば見学を受け入れたり保護者様の了解のもと、情報共有の文書を渡して移行支援を行っております。 ・保護者様の了解を得て保育園等との情報共有を行っております。	・ご要望があれば並行通園先に訪問し環境整備等と一緒に検討させていただきます。
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15		・卒園前にはお子様の様子を見に来てもらったり児童発達支援会議に参加してもらったりしております。 ・卒園前に限らず必要な時は連絡を取り会議への参加を依頼しております。	・ご要望があれば就学先に訪問し環境整備等と一緒に検討させていただきます。
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	14	1	・研修や事業所の訪問支援などを通じて県下の事業所の療育の質向上を支援しております。	・これからも地域全体の質の向上に努めて参ります。
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14	1	・外部研修に参加したり他施設の視察に行ったりして質の向上に努めております。	・これからも外部研修に参加し研鑽して参ります。
30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	1	・地域の児童の支援に関する会議に参加しております。	・これからも積極的に参加して参ります。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
携	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	13	・当園の役割として個々に他者とのかわり方を学んでいただき将来の円滑な人間関係に繋げていくことが大切であると考えております。	・保護者様には当園の考えを更にご理解いただけるように丁寧に説明して参ります。
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	1	・自閉症クラスは毎回お迎えの際や連絡帳にて保護者様とお子様の様子を伝えあい共通理解に努めております。 ・肢体不自由児クラスは家族通園のため、療育の中で共通理解を行っております。 ・ご希望や必要があれば時間を設けてご相談を受けております。	・保護者様と職員間でお子様のことを正しく共通理解できるように連絡を密にして参ります。
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	1	・応用行動療法に基づいた効果的な支援をご家庭でもできるように提供しております。 ・保護者勉強会や個別面談を行っております。 ・必要時に家庭訪問を行い丁寧な保護者支援を行っております。	・保護者様が取り組まれた結果も確認しながら、丁寧な情報提供を行って参ります。	
保護者への説明等	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15		・ご契約時や支援会議時に説明をしております。	・今後も分かりやすい丁寧な説明に努めて参ります。
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15		・お子様の様子をアセスメントし、保護者様のご意向をよく確認して計画を作成するようにしております。	・お子様の状態、保護者様のご要望を正しく理解して作成するようにして参ります。
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15		・作成するにあたり保護者様、関係機関出席の会議を開催し同意を得ております。	・今後も丁寧な対応に努めて参ります。
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	1	・児童発達支援会議や日々の療育、連絡帳の中でご相談に対応し効果的な支援や助言を行っております。	・保護者様と積極的にコミュニケーションを取り必要な支援ができるように努めて参ります。
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	4	・自閉症クラスは、クラスミーティングや茶話会で保護者同士の交流の場を設けています。 ・肢体不自由児クラスは、日々の療育中に保護者交流の機会を設けております。	・今後もクラスミーティング（懇談会）を行い保護者様のつながりを支援していきます。
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15		・お子様の療育については、保護者様との連携が第一と考えてご相談には迅速に具体的に対応しております。	・今後も保護者様からのご相談には随時対応して参ります。
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	1	・毎月行事予定表を配布しております。 ・行事については、その都度ご案内を配布しております。	・今後も活動内容や行事予定などの情報を分かりやすく発信して参ります。
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15		・撮影した写真や動画については、保護者様に同意をいただきお客様ご本人だけのものを渡しております。 ・お子様の個人情報資料に関して、保護者様の同意のうえ、組織としての決裁後に関係機関に提出しております。	・個人情報の取り扱いには十分に注意するように徹底しておりますが、今後も気をつけて参ります。
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15		・連絡事項は記録として残るように文書を作成し視覚化して配布しております。	・分かりやすい情報発信に努めて参ります。
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	4	・自閉症のお子様は大勢が集まる場所は混乱を招く恐れがあります。行事参加はマイナス体験とならないよう配慮しております。 ・肢体不自由児クラスは地域の方々を招待するセンター行事にも参加されています。	・保護者様には、当園の療育考えをご理解いただきますように丁寧な説明を行って参ります。
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15		・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定して風除室に置いておりますことをお伝えしております。 ・発生を想定した訓練を行っております。	・風除室に常時ご覧になれるように置いてあります。ご不明な点はいつでもお尋ねください。
46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15		・定期的に訓練を行っています。 ・年に一回センター全体でのBCP実動訓練を行っております。	・各種訓練について十分な説明を行って参ります。	
47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15		・入園時に調査し感染罹患歴及び予防接種状況一覧表を作成しております。 ・発作に関しては個人記録に記載しております。 ・服薬に関しましては投薬依頼書を提出していただき管理しております。	・今後もお子様の状態の把握に努めて参ります。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15		・主治医から食事箋を出してもらっております。	・主治医、管理栄養士と連携を取り安全な食事提供に努めて参ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15		・安全計画を策定し、毎月テーマを決めて職員研修を行っております。 ・環境について、常に見直しを行い、安全管理に努めております。	・充実した研修を行いお子様の安全を守って参ります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	1	・保護者様から家庭での安全についての相談を受けたり、対処法を提供しております。	・今後も家庭での安全に対し情報を提供して参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		・センター内にリスクマネジメント委員会を設け事例を共有しております。	・全職員でヒヤリハット事例を共有し再発防止に努めております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15		・定期的に研修の機会を設け全職員が受講しております。	・今後全職員でも虐待防止の取り組みを続けて参ります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15		・身体拘束対応対応マニュアルを作成し適切に対応しております。 ・身体拘束3要件「切迫性」、「非代替性」、「一時性」を満たした場合、必要最小限で行うことを徹底しております。 保護者様にはご説明をし同意書をいただいております。また、そのことを児童発達支援計画書に明記しております。	・今後も定期的に検証を行い適切な運用に努めて参ります。